

## 第 205 回山梨大学医学会例会

日時：令和 6 年 2 月 28 日（水）午後 4 時～ 5 時

会場：管理棟 3 階大会議室

### 教授就任講演

## 私を支えてくれている珠玉の言葉たち

吉野 修

山梨大学医学部産婦人科

司会 小泉 修一教授

#### 【要旨】

2023 年 5 月 1 日付で産婦人科教授を拝命した吉野 修と申します。私は山梨医科大学 12 期生で、テニス部に所属しておりました。当時、下宿生が学年 100 人中 96 名という状況でしたので、昼夜を問わず仲間と過ごす状況でした。20 歳前後という多感な時期を友人たちと過ごさせていただいたことで、人間的に成長させていただきました。その中で、友人、恩師からいただいた珠玉の言葉で私は形成されております。

井上 健一郎テニス部部长

「テニスが上手になりたいのならば、テニススクールに行ってください。部活とはテニスを通じて人間的に成長する場です」

川田 殖教授（山梨医科大学哲学）「要領の良い者は、その要領の良さが命取りになる。」

杉田修一先生（高校時代の恩師）「夢は逃げません。あなたが逃げるのです。」

これらの言葉を胸に産婦人科医になった私は、女性が我が子を慈しむ姿に感動し、「とにかく女性を守りたい」、という思いを抱くようになりました。そして女性を苦しめる月経痛の発生メカニズムには MAPK シグナルのうち、p38MAPK が重要なシグナル伝達経路であることを明らかにし、その制御を中心に研究を行って参りました。これからは、医局の皆さん、そして賛同してくれる学生さんとともに、月経困難症、それに付随する子宮内膜症の制御を目指して基礎研究、臨床そして社会活動（アウトリーチ）を展開して参ります。

そして、私たち産婦人科はエンパワーメントという言葉のスローガンにしていきます。エンパワーメントとは、人々に夢や希望、勇気を与え、その人が本来持っている力を湧き出させることです。すなわち、患者さん、山梨県住民の皆さん、山梨大学学生の皆さん、そして医局員の皆さんにそれぞれに力を持ってもらう（エンパワーメント）が、私の使命と捉え、尽力することを誓います。何卒ご指導のほどお願い申し上げます。